

江田島市保育施設の運営に関する調査について

1 概要

令和3年度中に、市が運営する5つの保育施設（認定こども園）に関して、第2期江田島市子ども・子育て支援事業計画（令和2年3月策定、計画期間：令和2～6年度）に掲げる保育施設の再編整備の動きを踏まえた上で調査を実施することにより、課題を総括し、今後の保育施設の運営のあり方について検討するための基礎資料を作成しました。

2 実施状況

(1) 実施方法

株式会社ぎょうせい 中国支社に対し、調査業務を委託しました。

(2) 調査の内容

項目	内容
保育施設の現状把握	立地環境、整備状況、利用状況、保育内容及び運営体制について、関連するデータ、資料等を基に整理分析を行いました。
既定関連計画の保育に関する動向の把握	第2次江田島市総合計画、第3次江田島市地域福祉計画、第2期江田島市子ども・子育て支援事業計画及び江田島市公共施設等総合管理計画について、今後の保育に対する方向性の整理分析を行いました。
子ども人口の将来推計	将来的な保育施設の需給バランスを検討するため、関連するデータ、資料等を提供し、地域別・1歳階級別に子ども人口の将来推計を行いました。
関係者へのヒアリング調査	保育施設の利用者（保護者会ごとに3人ずつ）、保育施設に勤務する者（各園の保育士3人ずつ）のそれぞれを対象に、事前アンケートをもとに、ヒアリング調査を行いました。
現地調査	保育施設ごとに、劣化状況を目視するとともに、各園長に利用時の不具合等がないか確認しながら調査を行いました。

3 結果報告

今後の運営に向けた課題の総括について、大枠では次のとおりです。

項目	課題
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 長寿命化の視点も踏まえ、長期的なスパンで、5園別の今後の整備の考え方を明らかにする必要がある。 ・ <u>えたじま及びのうみ</u>…現在問題になっている箇所整備の考え方 ・ <u>みたか</u>…当面現施設を利用するという前提での今後の整備の考え方 ・ <u>おおがき</u>…旧施設（保育棟）を中心にした今後の整備の考え方 ・ <u>きりくし</u>…新築移転を前提に、当面对応すべき整備の考え方 ◆ 子ども人口が減少することを踏まえて、“空き保育室”になってくるスペースの有効利用を検討すべき。

<p>保育サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 5園がそれぞれテーマを持って特色ある保育に取り組んでおり、現状の活動をさらに充実していくことが基本となる。 ◆ 保護者から要望が多い次のような項目について、認定こども園としての運営のあり方等を検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・給食サービス（手作りメニューや主食の提供等） ・延長保育の申込システム（事前申込制度） ・園ごとのHPやイベント時の映像配信 ・定期的な園と保護者との懇談会等 ・登園・降園の時間の遵守やルールの明確化 ◆ 職員体制は基準に沿った配置が原則であるが、市の財政のことも踏まえ、認定こども園の運営方法として、公営・民営のプラス・マイナスを検討しておく必要がある。
---------------	---

詳細は、「資料2-2 現状分析からみた課題の総括」参照。

4 今後の展開

この基礎資料をもとに課題への対応を整理しつつ、今年度から令和6年度までの「子ども・子育て会議」で審議し、次期計画（計画期間：令和7～11年度）に反映させていきます。